

令和7年度

中学生体験学習を終えて



市内中学校の3年生を対象に、東日本大震災被災地などを視察する中学生体験学習を6月に実施しました。生徒たちは、被災地を視察する中で、今も残る津波の痕跡や被災者の記憶に触れることで、災害の恐ろしさや命の尊さを学びました。

また、この地で生きる地域住民のリアルな声を実際の被災現場で聞くことによって、防災への意識を一層高めるきっかけとなりました。特に2日目のワークショップでは、東北大学災害科学国際研究所の武田真一学術研究員を講師に迎え、「震災被災地で何を確かめたのか」「何のために助かろうとするのか」「避難をあきらめる人をどう説得するか」という問いかけに対して皆で一緒になって真剣に考えました。生徒たちは、震災の現実や命の重みを理解し、避難訓練や災害対策の重要性を再認識するとともに、多くの人が助かることで、被災後の地域や人々を支える力になることなどを学びました。

各学校では、中学生体験学習での経験を活かし、防災に関する学習活動に取り組みながら、地域との絆を深めていきます。

◎本事業は、「学校、家庭、地域連携協力推進事業費補助金」を活用し、実施しています。

【日程】

実施日	学校名	生徒数	教員数
6月3日(火)～6日(金)	佐織中学校、佐織西中学校	189人	19人
6月10日(火)～13日(金)	永和中学校、立田中学校、八開中学校	130人	21人
6月17日(火)～20日(金)	佐屋中学校	173人	14人

◇主な視察先

①南三陸旧防災対策庁舎



②気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



③石巻南浜津波復興祈念公園 (3.11メモリアルネットワーク語り部)



③石巻南浜津波復興祈念公園 (3.11メモリアルネットワーク語り部)



④ワークショップ



④ワークショップ

